

[◀ シアター&プロダクションページへ戻る](#)

Hamlet

THE TIME IS OUT OF JOINT

インターナショナルシアターカンパニーロンドン
第30回日本公演

作： ウィリアム・シェイクスピア
台本・演出： ポール・ステッピングス
主催： アシュリーアソシエイツ
後援： プリティッシュ・カウンシル、
シェイクスピア・カンパニー、(株)アルク

UK-Japan 2008公認イベント

チケット： ぴあにて発売中 (全席自由)
・一般前売： 5000円/学生： 2500円
・当日券一律： 5500円 (残席ある場合のみ)
・開場： 開演45分前より

この世の関節がはずれてしまった

The time is out of joint. O cursed spite
That ever I was born to set it right! (Hamlet- I.v.215)

この世の関節がはずれてしまった。なんの因果か、それを正すために生まれてきたとは。

Less is More

「小が大を超える」これが ITCLの神髄といえる。七人のキャストの早業、想像力を呼覚ます簡素な舞台造り、役者の生演奏、作品のテーマやコンテンツを象徴的に示す独特な身体表現などが、言葉そのものの化身となってビジュアルでフィジカルな舞台を生み出す。

『マクベス』『夏の夜の夢』『リア王』『じゃじゃ馬おかし』などで世界中のシェイクスピアファンを魅了したポール・ステッピングスが2004年のテヘラン国際演劇祭にて最優秀賞に輝いた『ハムレット』をリバイバルさせる。今年も英国を始め、全世界30カ国で上演される

ハムレット受賞歴

2004年国際演劇祭にて最優秀賞
シンガポール政府芸術功績賞

『ハムレット』の暗喩と現代性 (ポール・ステッピングス)

ローレンスオリビエが1948年Hamlet映画の序文でも述べている様に、既存のHamlet演出の多くが“決心が出来ない”男の悲劇として『ハムレット』を創りあげてきた。監督ポールステッピングスはこれにあえて挑戦する。シェイクスピアは劇詩人であり、リアリストでもロマンチストでもない。ポールは王子を“決心が出来ない男”というよりも、倫理的ジレンマの袋小路に入り込み、身動きがとれなくなった男と解釈する。ハムレットはあくまで真実の追求に終止する。物語はいわば探偵ものとしても完璧だ。

『ハムレット』は数多の戯曲の中でも最も人を惹きつける作品かもしれない。その中心となる暗喩は“演じる”ということのパラドックスである。劇中劇がクローディアスの罪を暴き、ハムレットの偽りの“狂気”が人間の真実をさらけ出し、この芝居そのものが“人間の迷える魂”を写しだす鏡となっている。

暴露された真実に対峙するプリンス。復讐のための殺人は許されるのか？デンマークを立ち直らせるには敵を殺すことで解決するのか？ 敵を殺しても、失われた人間性への信頼は回復できないのではないか？というジレンマが彼を苛む。復讐とは何か？“目には目を”以来、人間に課せられてきた普遍的で永遠な問いかけでもある。

福田恒存 “ホレイショーは沈黙する”

...ハムレットはめまぐるしく、ときには軽率に行動しながら、意識の世界では一歩も動かず、じっと自己の宿命が完成されるのを待っている。かれは完全に無垢であるがゆえに、そして完全に意識的であるがゆえに、計算を事とする用心深い個性の手が、自己の宿命を造りあげるものでないことを知っている。ひとの眼には自己分裂的とさえ見える偶然にまかせた自由闊達な運動が、宿命の必然に遇じるものであることを知っている。かうして動かずに待つ意識を中心に、一杯うごきまわること、それが演劇なのである。

『ハムレットとラスコーニコフ』のなかで小林秀雄はかういっている。「ハムレットは、出来る事なら、純粋な、意識の進化として生きたいのである。」

彼は、寛大で廣場であり、復讐を遂行する勇気も工夫もかけていない。...

ハムレットの行為は、衝動的に、機械的に、殆ど自己防衛の様な形でしか行なわれない。それに比べると、彼の独白の方が、よほど自発的な強い行為にさへ思われる。ところでハムレットは結局、不様な形ではあるが、復讐を遂げる。何が彼を復讐に追いやったのか。止むに止まれぬ正義感でも怒りでもない。さういふものこそ、獨白によって、彼が故意にかき立てる必用のあるものだ。何の因果で、彼は芝居をしなければならぬか。

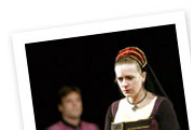
ハムレットにはわからない。ここにハムレットの不透明性がある。という事を おそらくシェイクスピアはよく知っていた。

ハムレットのやうな精神を前にしては、私たちはホレイショーのやうに沈黙するのが一番いい。ホレイショーはハムレットの生きかたを信じているがゆえに、ひとことも忠告しない。かれの役目はただやさしく相手を打つだけだ。そして、ハムレットがかれ自身の宿命を完成するのを、じっと見まもっているだけだ。ホレイショーの信頼が揺らぐかに見えるのはただ一度だけ、最後の決闘の前にして、ハムレットが不吉な予感を物語るときである。ホレイショーは、はじめて自分の意見をいふ。「お気がすまぬなら無理をなさぬはうが、すぐ奥へまいて、御気分のわるいよしを申し上げ、お出しをおとめしてきませう。」いや、もう一度、ホレイショーがハムレットの行動を制制することがある。亡霊を追って行かうとするハムレットを、ホレイショーは押しとどめる。だがホレイショーはつねにゆづる。自分の沈黙は、おそらく親友の死を招くであろうと予感しながら、さういふときでも、ホレイショーは沈黙する。なぜなら、親戚代表であるホレイショーは、悲劇の主人公が死に至る過程を必然化しようとしておこなふ演劇に、口だししはならぬことを知っているから。

福田恒存『人間・この劇的なもの』（新潮社、1956）p.61-62

あらずじ：

デンマークの王子ハムレットは父王が変死し、2ヶ月も経たないうちに母(王妃)が王の弟と結婚したので鬱屈とした日々を送っている。ある晩、父王の亡霊から叔父の謀略により毒殺されたと告げられる。また、亡霊は「復讐せよ、然し心は汚すな。」と至難の業ともいえる命題を課す。亡霊の言葉の真実はつかめないものの、「腐った」デンマークを救う運命にあることを自覚したハムレットは狂人を装い、道化となることにより敵の叔父や自分をとりまく全ての人間の真実を確かめようとする。「狂人」という器で身を包んだ王



子が、次々と放つ辛辣な諸説の矢の数々、それは見事に相手の急所をつく。恋人オフィーリアは王子の変貌に戸惑い、嘆くのみ。

王子は、たまたま城にやってきた旅役者に毒殺のくだりを宮廷人の前で演じさせる。案の定、クローディアスは顔面蒼白になり、よるめくように立ち上がる。ハムレットの親友ホレイシオもしかと王の形相をみとどけ、二人は亡霊の言葉が偽りでなかったことを確信する。

息子の「悪ふざけ」を不審に思った母ガートルードと対決するに至ったハムレットは容赦なく母を弾劾し、その場に隠れていた恋人の父、宰相ポロニアスを偶然に刺してしまう。彼の「偽の狂気」を察知し、不安に駆られたクローディアスは、英国王にハムレット殺害の国書を託し王子を追放する。父を殺されたオフィーリアは狂死するが、その日のハムレットは着の身着のまま故国に舞い戻ってきたのだった……。



- ⇒ あらすじ詳細
- ⇒ 日英対訳ハイライト
- ⇒ ヨーロッパ公演メディアコメント
- ⇒ 公演舞台写真 スティーブ・ルイス撮影 (京都教育文化センター公演、05/26/2008)

Cast:



Richard Keightley
as Hamlet



Richard Clodfelter
as Claudius



Natalia Campbell
as Gertrude



Richard Ede
as Horatio



J.C. Hoyt
as Polonius



Dan Wilder
as Laertes



Sophie Franklin
as Ophelia

チケット：びあ店舗にて発売中（全席自由）
全国のファミリーマート、サークルK・サンクス、
びあ店舗にて販売

電話予約 0570-02-9999（Pコード：xxx-xxx ＊）
全国統一受付ダイヤル（公演特定可能）
<http://t.pia.jp/t/>

東京公演【字幕】

・星陵会館（TEL：03-3581-5650）
www.seiryokai.org
5月13日（火）開場5:30 pm / 開演6:00 pm
東京メトロ赤坂見附、永田町、国会議事堂前より徒歩5分

Pコード：385-751



東京公演【字幕】

・武蔵野公会堂（TEL：0422-46-5121）
5月14日（水）開場5:45 pm / 開演6:30 pm
中央線・井の頭線「吉祥寺駅」南口より徒歩2分

Pコード：385-755



仙台公演【字幕】

・イズミティ21 小ホール（TEL：022-375-3101）
5月15日（木）開場5:45 pm / 開演6:30 pm
仙台駅から市営地下鉄・泉中央方面行き15分、「泉中央駅」下車、北三番出口より10分
<http://www.bunka.city.sendai.jp/izumity21/index.html>

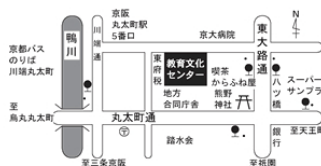
Pコード：385-757



京都公演【字幕】

・京都教育文化センター（TEL：075-771-4221）
5月26日（月）開場5:45 pm / 開演6:30 pm
京阪電車「丸太町駅」5番出口より徒歩3分

Pコード：385-758



学校主催公演

<大学公演主催者（大学関係者のみ）>
※開場は開演の30分前

東海大学 Mon May 19, 1:25 pm
(2号館2S-101、大ホール)

<大学主催公演（関係者及び一般を対象）>
※開場は全て開演の30分前 / 全席自由

早稲田大学	Mon May 12, 4:30 pm (大隈講堂) 入場無料 E-mail: icc@list.waseda.jp 主催：国際コミュニティセンター
学習院女子大学	Sat May 17, 6:00 pm 【字幕】 (やわらぎホール) 学習院学生/生徒/教職員：無料 一般2,500円/学生1,000円 E-mail: 19901458@gakushuin.ac.jp http://www2.gwc.gakushuin.ac.jp/index.html チケット申込み問合せ：03-5469-2841 アシュリーアソシエイツ (渡辺)
関西外国語大学	Tue May 20, 6:00 pm 中宮キャンパス (谷本記念講堂) 入場無料 【字幕】 申込み問合せ先：072-805-2801 (代) 国際文化研究所 E-mail: iri@kansai-gaidai.ac.jp 5月1日以降は秘書室 主催：国際文化研究所
大阪樟蔭女子大学	Wed May 21, 2:45 pm 【字幕】 (本学会館) 入場無料 TEL: 06-6723-8316 (代) 英米文学科事務センター 申込みはハガキで大阪樟蔭女子大学英米文学科事務センター宛 (5月14日必着) 〒577-8550 東大阪市葦原西4-2-26 http://www.osaka-shoin.ac.jp/univ/
広島女学院大学	Thu May 22, 6:00 pm 【字幕】 (広島女学院大学 砂本記念講堂) (旧講堂) 入場無料 TEL: 082-228-0386 http://www.hju.ac.jp/~eng-dept
福岡女学院大学	Fri May 23, 7:00 pm 【字幕】 (ギール記念講堂) TEL: 092-575-2971 (大学総務課) 一般2,000円/大学生1,500円/小中高生500円 主催：福岡女学院大学表現学科 http://www.fukujo.ac.jp E-mail: d_somu@fukujo.ac.jp Pコード：385-760
神戸女子大学	Tue May 27, 6:00 pm 【字幕】 (神戸女子大学体育文化ホール) 入場無料 TEL: 078-737-2320 神戸女子大学英語英米文学科 E-mail: fujijo@suma.kobe-wu.ac.jp 問合せ期間：4月12日より5月23日迄 平日 (10:00 amより4:00 pm迄) 主催：神戸女子大学 (英語英米文学科) 後援：学校法人行吉学園神戸女子大学
就実大学	Wed May 28, 3:30 pm 【字幕】 (R館601) TEL: 086-271-8121 (人文科学部) 主催：就実大学人文科学部実践英語学科 後援：山陽新聞社
東京女子大学	Thu May 29, 5:00 pm (講堂) 一般 (本学学生及び職員以外) 1,000円 申込みは往復ハガキで東京女子大学文理学部英米文学科事務室まで： 〒167-8585 杉並区善福寺2-6-1 (チケット枚数/住所/氏名/電話番号を明記のこと)
学校法人関東学院	Fri May 30, 6:00 pm 【字幕】 (金沢公会堂) TEL: 045-788-7890 (区総合庁舎隣接) 「関東学院創立125周年記念事業」後援：(社)日英協会 一般1,000円 (本学院生徒・学生は無料) 一般の申し込みは往復ハガキで関東学院大学文学部庶務課まで： 〒236-8502 横浜市区金沢区釜利谷南3-22-1 (チケット枚数・住所・氏名・電話番号を明記のこと)
明星大学	Sat May 31, 3:30 pm 【字幕】 (明星大学日野校 シェイクスピアホール) (参加者数/住所/氏名/電話番号/E-mailアドレス)を明記の上、5月23日(金)迄に hamlet@meisei-u.ac.jp までお申込みください。入場無料。応募者多数の場合は抽選を採用 問合せ先：042-591-5390 (明星大学学長室広報課) http://www.meisei-u.ac.jp/

次回公演予定
 カンターヴィルの幽霊
 オスカー・ワイルド原作
 2008年10月4日より2週間日本公演



International Theatre Company London
 インターナショナル・シアターカンパニー・ロンドン (ITCL)
 represented in Japan by Ashley Associates Ltd.

ITCL日本実行委員会事務局
 株式会社 アシュリーアソシエイツ
 プロデューサー： 渡辺三千代
 〒107-0062 東京都港区南青山 7-8-1 南青山ファーストビル 8F
 TEL (代表)： 03-5469-2869 / (直通)： 03-5469-2841
 FAX： 03-5469-2870
<http://www.ashleyassociates.co.jp>
<http://www.stageplay.jp>

- 一般公演団体特別割引引き (東京公演/京都公演)：
 20名以上、一席2200円
 『氏名/住所/公演場所/公演日/送金予定日/チケット枚数』を明記の上、E-mailまたは、Faxで担当 (渡辺) までお申込ください。(締め切り5月8日)
- 銀行振込み： みずほ銀行 目黒支店、普通口座 1957285
 株式会社 アシュリーアソシエイツ
 (銀行送金を確認後、チケットを郵送いたします。)
- 字幕スーパー【字幕】の有無は会場により異なる。ただし粗筋を会場で無料配布
 上演台本及び日英対訳ハイライト版をチケット購入者にメールでのみ送付可能。(締め切り：5月8日)
- 予約席なし (全自由席)
- 公演時間： 150分 (予定)